

中村記念病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	脳ドックデータベースによる脳卒中・認知症予防に関する研究
意義・目的	多機関共同研究として、共同研究機関で蓄積された脳ドック関連データおよび追跡調査データを解析し、一般健診者における下記を明らかにします。 ①脳卒中、認知症の頻度、MRI 等検査の陽性率を検討します。 ②脳ドック健診者のうち、脳卒中、認知機能障害 発症者を追跡し、脳ドック検査時所見、既往歴、生活習慣等の危険因子分析を行います。 ③それらの分析を基に、脳卒中・認知症予測人工知能を作成します。 日本のみならず、世界中で人口の高齢化と共に脳卒中・認知症の発症が問題となっており、これらの危険因子が明らかになり、予防方法が確立されればその意義は大きいと考えます。
研究期間	当院病院長許可日（利用開始日） ～ 2035 年 12 月 31 日
対象患者	2000 年 1 月 1 日 ～ 2030 年 12 月 31 日までに共同研究機関で脳ドック健診を受けた健診者のうち、各共同研究機関において脳ドック関連データベースまたは診療録等に必要情報が登録され、本研究に必要な脳ドック関連データが取得可能な健診者さん。
研究内容	「利用する試料・情報の項目」に示す項目を各共同研究機関の脳ドック関連データベース、または各共同研究機関から収集し、以下について検討、解析します。 ①脳ドックの下記データを用いて MRI 画像異常の危険因子等の解析をします。 ②脳ドック健診のときに取得した住所を用いて、アンケートを送付することもあります。 ③それらの分析を基に、脳卒中・認知症予測人工知能を作成します。 ④年齢別に分類し、画像所見の変化と認知機能、脳卒中、認知症発症との関連性を統計学的に解析します。 AI 作成については、Anthropic 等を用いて解析します。 個人が特定できる情報は削除します。
利用する試料・情	・脳ドック健診申込時：氏名、住所

報の項目	・脳ドックデータベース項目：年齢、性別、BMI 値、BMI 分類、MRI 検査日、MRI 施行回数、MRI 装置（テスラ）、MRI 検査異常有無、脳室周囲変化グレード分類（PVH Grade）、脳深部白質変化グレード分類（DSWMH Grade）、脳萎縮有無、MRI 異常所見、MRA 有無、MRA 異常有無、脳動脈瘤有無、脳動脈瘤部位、脳動脈瘤サイズ、血管狭窄有無、血管狭窄部位、血管狭窄率、MRA 異常所見、高血圧、高脂血症、糖尿病、うつ病、脳卒中有無、脳卒中種類、脳卒中発症日、神経所見有無、認知機能検査（長谷川式、MMSE 等） ・脳ドック検診後アンケート項目：健康状態、新たに罹患した疾病、全ての入院加療、認知機能検査有無、認知機能障害の有無、改善した生活習慣、気をつけている食事、平均睡眠時間、ストレスについて 等
試料・情報の他 機関への提供有 無	☐ あり（ ☐ 国内 ☐ 海外 ） 提供方法： ☒ なし
研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 脳神経外科 井川 房夫 共同研究機関：機関名および研究責任者名 中村記念病院 瀬尾 善宣 北斗 北斗病院 金藤 公人 秋田県立循環器・脳脊髄センター 佐々木 正弘
本研究に関する 当院の連絡先	研究責任者： 脳神経外科 瀬尾 善宣 電話：011-231-8555（代表）
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL： https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy
結果の公表	投稿論文で公表予定です。
備考	